



# 接種推進運動の裏側

～専門家とワクチンメーカーの怪しい関係～

2014年11月24日 国民の医薬シンポジウム

弁護士 関口正人

# 子宮頸がん征圧を目指す専門家会議

## ➤ 設立

2008年11月…HPVワクチン承認審査中

## ➤ 目標

- ①より精度が高く費用対効果にすぐれた子宮頸がん検診（細胞診＋HPV検査）を確立し、子宮頸がん検診の受診率50%以上をめざす
- ②HPVワクチンの早期承認と公費負担の実現を図ること（～2011年度）  
HPVワクチンの公費負担年齢における接種率向上と、キャッチアップ世代へのワクチン接種を推進すること（2012年度～）

# 活動

- 提言、見解等の公表
- 政府や政党に対する要望書等の提出や勉強会の実施
- 自治体担当者、議員、医療関係者、啓発団体、メディアなどを対象としたセミナーの開催
- 記者懇談会の開催
- 子宮頸がん予防啓発団体を集めたワークショップの開催
- 行政の子宮頸がん予防の担当者を対象とするセミナー実施
- 市民向け公開講座等の開催
- 「子宮頸がん予防活動奨励賞」の創設・表彰
- 海外の学会・国際会議への参加・取材ツアーの実施
- 啓発団体のサポート

幅広い層を対象としたきわめて多彩な活動

# 子宮頸がん 征圧をめざす 専門家会議

HOME

お知らせ

イベント・セミナー

私たちについて

子宮頸がん啓発資料

子宮頸がん予防ワクチンQ&A

ライブラリ

リンク集

お問い合わせ

2008-2012 (C) cczeropro  
All Rights Reserved.

[子宮頸がん予防ゼロプロジェクト HOME](#) > > [お知らせ一覧](#) > 「EUROGIN 2011 & 2011 WACC Forum 参加・取材ツアー」参加者募集！

## お知らせ

2011.02.22

### 「EUROGIN 2011 & 2011 WACC Forum 参加・取材ツアー」参加者募集！

子宮頸がんに関する最新の知見と啓発の状況、世界のさまざまな啓発へのアイデアなどに触れ日本での啓発活動に活かすため、2010年モナコで開催された世界最大の子宮頸がん学会・EUROGINと子宮頸がん啓発を推進する国際会議・WACCのフォーラムに、子宮頸がん啓発団体、メディア関係者ら12名を派遣、帰国後に報告会を開催しました。＊詳細は当会ホームページの「活動報告」をご覧ください。

検診無料クーポンやHPVワクチンの無料接種などの施策が進む中、検診とワクチンに関わるさまざまな立場の方々や一般市民の理解を深めるため、さらなる教育・啓発の必要性を感じています。

そこで、本年、ポルトガルで開催される「EUROGIN 2011 & 2011 WACC Forum」への参加・取材ツアーを企画し、参加者を一般公募いたします。

応募資格は、子宮頸がん予防、検診とHPVワクチンに関する啓発に熱心である方、正しい知識や情報にアクセスする意義をご理解されている方、などです。医師以外の医療関係者、保健衛生・公衆衛生担当者、ジャーナリスト、大学生、そして、一般の方など、広く参加希望を募ります。

#### 趣旨

ポルトガルで開催される世界で最大の子宮頸がんの学会・EUROGINと子宮頸がん啓発を推進する国際会議・WACCに参加し、子宮頸がんに関する最新の知見と啓発の状況、アイデアなどに触れ、今後の啓発活動に活かしていただきます。帰国後、報告会を予定しています。 ＊会議はすべて英語で行われます。

#### ■EUROGIN (European Research Organisation on Genital Infection and Neoplasia)

ヒトパピローマウイルスと子宮頸がんに関係する医療者・科学者の、世界最大の学会。HPV、HPVワクチン、子宮頸がんの検査などに関する最新の研究の発表がされる。当会の今野良実行委員長(自治医科大学さいたま医療センター産婦人科教授)、シャロン・ハンリ委員(日本赤十字北海道看護大学准教授)も参加する。

<http://www.eurogin.com/2011/>

日時	2011年5月7日(土)～13日(金) リスボン5泊7日 7日(土) 10:00頃集合 午後/成田発→ヨーロッパ乗継→リスボンへ 8日(日)～11日(水) EUROGIN&WACC Forum参加(リスボン会議センター) 12日(木) リスボン発 13日(金) 成田着 解散
場所	Lisboa Congress Centre(ポルトガル リスボン)
参加費	<u>成田～リスボン往復航空(エコノミー)運賃、現地宿泊費(朝食付)、学会参加費は、主催者で負担いたします。</u> それ以外の費用については各自ご負担ください。
参加資格	・医師以外の医療関係者、新聞・雑誌・テレビ・インターネットなどのメディア関係者、子宮頸がん啓発団体関係者など、 <u>子宮頸がん予防啓発の推進に寄与する方</u> ・英語の多少できる方
人数	<u>10名</u> を予定
応募方法	<u>応募シート</u> に必要事項を明記の上、事務局宛メール( <a href="mailto:cczeropro@ellesnet.co.jp">cczeropro@ellesnet.co.jp</a> )でお送りください。 3月15日(火)までに応募いただいた方の中から選考を行い、3月中旬までに決定予定です。
お問い合わせ	子宮頸がん征圧をめざす専門家会議 事務局: 戸倉・城下 〒104-0045 東京都中央区築地1-9-4 ちとせビル3F (株)朝日エル内 電話番号:03-3546-2521 FAX:03-3549-1685
主催	子宮頸がん征圧をめざす専門家会議

# 子宮頸がん 征圧をめざす 専門家会議

HOME

お知らせ

イベント・セミナー

私たちについて

子宮頸がん啓発資料

子宮頸がん予防ワクチンQ&A

ライブラリ

リンク集

お問い合わせ

2008-2012 (C) cczeropro  
All Rights Reserved.

## 活動報告

### EUROGIN 2010&2010 WACC Forum 参加・取材ツアー

日時：2010年2月17日（水）～20日（土）

会場：グリマルディ・フォーラム・モナコ

世界最大の子宮頸がん学会「EUROGIN」と子宮頸がん啓発を推進する国際会議「WACC」のフォーラムに参加し、子宮頸がんに関する最新の知見と啓発の状況、アイデアなどに触れ、今後の啓発活動に活かすために、「EUROGIN 2010 & 2010 WACC Forum 参加・取材ツアー」を企画。子宮頸がん啓発団体、メディア関係者、細胞検査士、行政職員12名が参加し、現地にて当会委員などと合流し、4日間にわたり子宮頸がん、HPVに関する情報の収集、啓発団体との交流を図った。



#### 参加メンバー

当会より派遣	
穴田 佐和子	卵巣がん・子宮がんの患者会*卵宮*管理人
飯野 なつみ	子宮頸がんを考える市民の会、法政大学国際文化学部 国際文化学科1年
臼井 あかね	女子大生リボンムーブメント、東洋大学文学部英語コミュニケーション学科4年
江口 一	毎日新聞 科学環境部記者
及川 洋恵	(財)宮城県対がん協会細胞診センター検査課課長補佐、細胞検査士
河村 裕美	当会委員、社団法人ティール&ホワイトリボンプロジェクト理事長、



## 参加メンバー

当会より派遣	
穴田 佐和子	卵巣がん・子宮がんの患者会＊卵宮＊管理人
飯野 なつみ	子宮頸がんを考える市民の会、法政大学国際文化学部 国際文化学科1年
臼井 あかね	女子大生リボンムーブメント、東洋大学文学部英語コミュニケーション学科4年
江口 一	毎日新聞 科学環境部記者
及川 洋恵	(財)宮城県対がん協会細胞診センター検査課課長補佐、細胞検査士
河村 裕美	当会委員、社団法人ティール&ホワイトリボンプロジェクト理事長、NPO法人女性特有のがんのサポートグループオレンジティ理事長
小林 忠男	当会委員、細胞検査士会会長、大阪大学大学院医学系研究科招聘教授、済生会滋賀県病院 前臨床検査部長
中村 勝義	志木市役所 健康福祉部参事兼健康づくり支援課課長
永峯 美樹	ライター
福原 麻希	医療ジャーナリスト
増田 美加	女性医療ジャーナリスト
森本 滋久	(株)からだにいいこと 営業部 取締役営業部長
個人参加	
今野 良	当会実行委員長、自治医科大学附属さいたま医療センター産婦人科教授
小西 宏	当会委員、財団法人日本対がん協会マネジャー
Sharon Hanley	当会委員、日本赤十字北海道看護大学准教授
平井 康夫	当会委員、癌研有明病院細胞診断部部長 婦人科副部長兼務

[EUROGIN 2010 & 2010 WACC Forum 参加・取材ツアー 報告書【PDF】](#)



大切なひとに伝えよう。



home

団体案内

introduction

活動一覧

activity

メンバー紹介

members

メンバー募集

recruitment

寄付のお願い

donation



## News / Topics



戸板女子短期大学で出張授業  
を行ってきました！

2014.11.12 ...[続きを読む](#)



2014年度がん征圧全国大会に  
てスピーチを行いました

2014.09.09 ...[続きを読む](#)



がん征圧学生全国大会を実施  
いたしました！

...[続きを読む](#)

[ニュース/トピックスを見る](#)

## 私たち(学生)の活動



戸板女子短期大学で出張授業  
を行ってきました！

2014.11.12 ...[続きを読む](#)

## イベント情報



全国大学生カンファレンスin  
福岡を開催しました！

2013.12.18 ...[続きを読む](#)

## 行政との取り組み



検診・受診のための活動  
受診勧奨/受診率向上/自治体応援

...[すべての取り組みを見る](#)

社員代表 中村 樹依

サポート組織：

公益財団法人 日本対がん協会

子宮頸がん征圧をめざす専門家会議

横浜・神奈川子宮頸がん予防プロジェクト

主な事業項目：

- \* 社会課題の啓発・改善プロジェクトの企画・運営
- \* 講演、セミナー、ワークショップ、フォーラムの開催
- \* 社会的課題における女性支援についての企業コンサルティング、マーケティング支援
- \* 調査・研究・開発事業（女子大生の意識・実態調査）
- \* 社会問題に取り組む女子大生ネットワークの構築

#### ウェブサイト

[団体案内](#)

[活動一覧](#)

[メンバー紹介](#)

[メンバー募集](#)

[寄付のお願い](#)

#### トピックス

[私達の活動](#)

[行政との取り組み](#)

[次世代への教育](#)

[調査研究](#)

[イベント情報](#)

#### 年別アーカイブ

[2014年度](#)

[2013年度](#)

[2012年度](#)

[2011年度](#)

[2010年度](#)

 Ribbon  
Movement.

Copyright © 2013 Ribbon Movement. All Rights Reserved.

# 副反応報道後の動き

## ➤ 見解・声明の公表

- ① 「子宮頸がん予防ワクチン（HPVワクチン）副反応報道について」（2013年4月18日）
- ② 「子宮頸がん予防ワクチンの積極的接種勧奨の差し控えについて」（2013年6月20日）
- ③ 「子宮頸がん予防HPVワクチン接種の接種勧奨差控え延長について」（2013年12月26日）
- ④ 「子宮頸がん予防HPVワクチン接種の接種勧奨差控えの状況について」（2014年1月21日）

※③・④は日本産婦人科医会、日本産科婦人科学会、日本婦人科腫瘍学会との連名

## ➤ 自民党勉強会開催の働きかけ（2014年5月30日）

# 学会との関係

専門家会議の役職	学会の役職
今村定臣実行委員	日本医師会常任理事 日本産婦人科医会副会長
嘉村敏治実行委員	日本婦人科腫瘍学会理事長
小西郁生実行委員	日本産科婦人科学会理事長 日本婦人科腫瘍学会理事
鈴木光明実行委員	日本産婦人科医会常務理事
吉川裕之実行委員	日本産科婦人科学会常務理事 日本婦人科腫瘍学会副理事長
青木大輔委員	日本産科婦人科学会常務理事 日本婦人科腫瘍学会常務理事
大道正英委員	日本産科婦人科学会理事 日本婦人科腫瘍学会理事
河西十九三委員	日本産婦人科医会理事
木下勝之委員	日本産婦人科医会会長
平井康夫委員	日本婦人科腫瘍学会理事

- 幅広い対象へのきわめて多彩な活動
- 主要学会との人的関係



**HPVワクチン推進運動の総本山  
世論形成と政策決定に強い影響力**

▶ **「子宮頸がん予防HPVワクチン公費助成の接種年齢について— とくに、小学6年生に対する助成—」緊急記者会見**

日時：2010年11月12日(金) 15:00～

会場：厚生労働省記者クラブ

現在、厚生労働省はワクチン接種に対する公費助成の対象を「中学1年生から高校1年生まで」とする方針を示し、小学6年生を対象としている自治体に対しては助成が行われない可能性が示唆されている。そこで、厚生労働省に要望書を提出し、緊急記者会見を行った。

▶ **緊急ワークショップ「子宮頸がん検診無料クーポンの評価とHPVワクチン助成の現状」**

日時：2010年10月20日(水) 18:30～20:15

会場：東京ステーションコンファレンス

9月に実施した「子宮頸がん無料クーポンの利用状況」及び「子宮頸がん予防HPVワクチン接種の公費助成状況」についての調査結果を発表するとともに、地域での先進的な活動を紹介する緊急ワークショップを開催。自治体、メディア、国会議員・秘書、地方議員など、約70名が参加した。

▶ **政策決定に必須の子宮頸がんセミナー**

日時：2010年9月28日(火) 15:30～16:45

会場：衆議院第二議員会館 B1 第一会議室

国会議員らに「なぜ、子宮頸がん予防が重要なのか」を理解していただくこと、政策決定・予算策定のための最新かつグローバルな情報を提供するセミナーを開催した。

▶ **“ワクチン公費助成予算150億円”厚生労働大臣による報告会&記者会見**

日時：2010年8月26日 報告会/13:00～14:10、記者会見/14:15～14:45

会場：報告会/厚生労働省10F大臣室、記者会見/厚生労働省9F会見場

7月21日に「子宮頸がん予防に関する要望書」を提出した23団体に対して、8月26日長妻 昭厚生労働大臣による報告会が実施された。

▶ **長妻厚生労働大臣に要望書提出、記者会見**

日時：2010年7月21日(水) 11:15～11:30要望書提出、11:40～12:00/記者会見

会場：要望書提出/厚生労働省10F大臣室、記者会見/厚生労働省9階会見場

子宮頸がん予防ワクチン接種の公費助成を求める23団体が、共同で長妻昭厚生労働大臣に面会し、公費助成を求める要望書と約52,000名の署名を提出した。

▶ **議員、行政担当者向け「子宮頸がんを知る」DVDの配布**

HOME

お知らせ

イベント・セミナー

私たちについて

子宮頸がん啓発資料

子宮頸がん予防ワクチンQ&A

ライブラリ

リンク集

お問い合わせ

2008-2012 (C) cczeropro  
All Rights Reserved.

## “ワクチン公費助成予算150億円”厚生労働大臣による報告会&記者会見

日時：2010年8月26日 報告会/13:00~14:10、記者会見/14:15~14:45

会場：報告会/厚生労働省10F大臣室、記者会見/厚生労働省9F会見場

7月21日に「子宮頸がん予防に関する要望書」を提出した23団体に対して、8月26日報告会が実施され、長妻昭厚生労働大臣以下、足立 信也厚生労働大臣政務官、山井 和則厚生労働大臣政務官、仁木 博文衆議院議員、梅村 さとし参議院議員、山崎 摩耶衆議院議員が出席した。当会・今野 良実行委員長、日本産科婦人科学会・吉川 裕之常務理事（当会実行委員）、社団法人ティール&ホワイトリボンプロジェクト・河村 裕美理事長（当会委員）、らんきゅう\*卵宮\*患者会・穴田 佐和子管理人、女子大生リボンムーブメント・臼井 あかね代表（このお2人は当会「EUROGIN 2010&2010 WACC Forum 参加・取材ツアー」参加者）など、計10人が報告を受けた。

長妻大臣や足立政務官から、「ワクチン公費助成のため150億円を概算要求する。地方自治体の助成とセットで国も助成するとの考えのもと、できるかぎりの多くの人に接種していき、何とか子宮頸がんを予防したい。対象は、中1から高1の235万人とし、接種率は45%を考えている。ワクチン代としてではなく、事業への補助としての考え方で、医療機関への支払いも含めたワクチン接種1回分の消費税を含めた金額としている。検診とのセットで、市町村に被害救済のための保険に加入してもらい負担も含めての予算。今後は国の持分も増やしたり、保険導入もありうるが、現在は予防接種法にあわせて3割・約1/3の定額にしている」との説明があった。参加団体からは、100%の接種率をめざしてさらに検討を重ねてほしいとの意見が出された。

続く記者会見では、仁木 博文衆議院議員より報告会の概要説明、参加団体代表者からコメントが出された後、活発な質疑応答が行われ、会見終了後も意見交換が続いた。

### 参加団体

医療構想・千葉

財団法人日本対がん協会

子宮頸がん征圧をめざす専門家会議（子宮頸がんゼロプロジェクト）

子宮頸がん予防ワクチン接種の公費助成推進実行委員会

市民のためのがん治療の会

社団法人ティール&ホワイトリボンプロジェクト

社団法人 日本産科婦人科学会

特定非営利活動法人 子宮頸がんを考える市民の会

らんきゅう\*卵宮\*患者会

女子大生リボンムーブメント

# 製薬会社の情報開示

日本製薬工業協会

「企業活動と医療機関等の関係の透明性ガイドライン」→2013年度より実施

2012年度の専門家会議に対する寄付金

- MSDから 2000万円
- GSKから 1500万円



実態は企業資金による販売促進活動？

# 公開質問

## <質問事項>

- ① 設立から現在までの両社からの寄付金額
- ② 設立から現在までに両社から受領した1以外の金銭
- ③ 受入寄付金総額において両社からの寄付金が占める割合
- ④ 実行委員及び委員に対して支払った金銭（報酬、執筆料、講演料、旅費交通費等名目を問わない）

**回答なし**

# 専門家会議声明

「**征圧会議自身は、任意団体であり、その資産状況の開示は行っておりません**」



- ◆ **資産状況の開示と利益相反の開示は別問題**
- ◆ **資産状況を開示していない個人でも開示を要求されるのが利益相反管理**

# 専門家会議声明

「委員は個人の意志でこの征圧会議に参加しており、それぞれが所属する団体・学会等において、適切な利益相反管理を行っている」と理解」



- ◆ 専門家会議がトンネルになると、所属団体は利益相反を正しく認識できない
- ◆ 所属団体に情報公開請求しても開示されない

# 労務提供？ 疑惑

## 堀内吉久氏

- 2011年以降、  
「子宮頸がん征圧をめざす専門家会議」  
「子宮頸がん征圧をめざす専門家会議ACTプロジェクト」の肩書で講演等の活動
- 2008年のGSK社社内報  
「ワクチンマーケティング部長 堀内吉久さん」



再質問書提出するも、回答拒否の声明

## 再質問に対する一部回答

- 2002年9月～2009年4月GSK社在職  
呼吸器マーケティング部長及び  
ワクチンマーケティング部長



サーバリックス発売の8か月前まで  
GSK社ワクチンマーケティング部長

- 専門家会議より「ACT事業」の委託
- 活動委託費の支払を受けている

## 再質問に対する回答

- 現在堀内氏が在籍する会社とGSKの取引関係の有無
- 堀内氏はGSK在籍当時サーバリックスのマーケティングに従事していたのか
- 専門家会議の委託により堀内氏が実施した具体的な事業は何か



全て回答なし

# MD 49

えむでい ふおー よんきゅう

## 女子大生からのメッセージ

私たちは、社会に出てから自分の夢を実現するためのキャリアデザインを大学で学んでいます。しかし、それは健康であることが大前提です。病気になるない体づくりを心がけましょう。

[続きを読む](#)



News\*  
ニュース

Talk\*  
本音・女子会

Voice\*  
体験談

Event\*  
イベント

Survey\*  
調査

Member\*  
メンバー

2013.3.7

## 「第10回日本子宮頸がん予防・啓発連絡会議」報告①

子宮頸がん自治体アンケート発表

子宮頸がん征圧をめざす専門家会議 堀内 吉久氏

「私たちの日々の活動を各自治体の耳に届け、子宮頸がん検診受診者の負担を軽減させるため、皆さんと子宮頸がん予防・啓発活動についての情報交換をしていきたい。」と堀内氏は子宮頸がん予防啓発団体に向けて述べた。

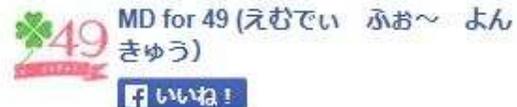
MDfor49は東京都港区芝・女性就業支援センターで開催された「第10回日本子宮頸がん予防・啓発連絡会議」（主催 NPO法人 子宮頸がんを考える市民の会）に2月7日、参加した。

Contact\* お問い合わせはこちら

Voice\*にご協力ください。

MDfor49では、女性の皆様の予防ワクチン接種体験談を募集しています。

Facebookもチェック





「子宮頸がん征圧をめざす専門家会議」の堀内吉久氏は、2012年度（3月～6月）に全国で調査された「子宮頸がん自治体アンケートの結果」を発表。アンケートの回収率は約80%弱と非常に高かったという。

「大きい自治体になればなるほど、子宮頸がん予防に対する対応が複雑化し、子宮頸がんのワクチン接種率に支障が出ている」と、堀内氏はアンケート結果から考察される全国の自治体の子宮頸がん予防・啓発への取り組みについて報告した。

さらに、自治体による公費助成で予防ワクチンを接種できる中学1年から高校1年（一部の自治体では高校2年）までの接種率は、全国で67.2%。「3人に1人はまだ受けておらず、各自治体の助成金額の差によってワクチンの接種率に差が出ている。予防ワクチン接種について、さらに受けやすい環境を整えていくことが必要だ」と自治体の現状と子宮頸がん予防啓発活動の難しさについても語った。

東京女子大学 牧 美菜子



# 2013年度も…

## 2013年度の専門家会議に対する寄付金

➤ MSDから 2000万円

※2013年度分を公開済みの59社中、唯一の寄付

➤ ジャパンワクチン社→未開示

(2012年7月よりサーバリックスの販売権移管)



# そして、相変わらず…

**2014年7月4日厚労省副反応検討部会を  
受けてのステートメント**

**「子宮頸がん予防HPVワクチン接種再  
開の要望」発表**

**（日本産婦人科医会、日本産科婦人科学会、日本婦  
人科腫瘍学会との連名）**

# IFPMA(国際製薬団体連合会) コード・オブ・プラクティス

## 2.1 交流の基本：

加盟企業の医療関係者との関係は、患者に利益をもたらし、医療を高めることを目的としている。交流は、医療関係者への医薬品の情報提供、科学および教育的な情報の提供、医学的研究および教育の支援に重点が置かれるべきである。

## 2.2 プロモーションの透明性：

医薬品およびその使用に関連する資材には、プロモーション活動を目的とするか否かに関わらず、企業により後援されている場合は、誰の後援によるものかを明確に記載しなければならない。プロモーションは偽装されてはならない。



これはまさに、

「プロモーションの偽装」

ではないのか？